



強歩大会



北海道高校生防災力フェ



体験入学

▼20kmの全校強歩大会(9月22日)
個々の体力に応じて、ペース配分を考えながら20kmの完走を目指しました。2年生の星康太くんは、歴代1位の1時間32分45秒でゴールしました。厚真駐在所長や町交通安全推進委員の皆さん、ご協力ありがとうございました。

▼北海道高校生防災力フェ(9月27日)
道内の高校20校による北海道高校生防災力フェに参加しました。昨年度に開催した「北海道高校生防災サミット」の成果普及等について、本校の生徒会の5人が、自

校や地域交流の様子を紹介。自然災害に対するコロナ禍での防災・減災に関する取り組みなどについて交流しました。

▼体験入学(10月5日)
中学3年生を対象に体験入学を行いました。体育館で開いた全体会では、生徒会が制作した動画で学校を紹介。その後、教室6力所に分かれて体験授業を行いました。来春の入学を心待ちにしています。

▼屋外体育大会(10月7日)
生徒会が企画・運営して屋外体育大会を開きました。開会式や準備体操に続き、午前中はドッジボールとソフトボールを行い、午後から障害物競走、選抜リレーを行ったあと、表彰式と閉会式を実施しました。終始和やかな雰囲気の中、全校生徒は交流を深めました。

時間の過ごし方

公営塾よりみち学舎の本格オープンから半年が経ち、スポーツセンター内の教室に訪れる生徒の活動も本格化しています。私たちは、教室の中だけではなく、地域や高校との連携も増やしたいと思っています。

10月に厚真高校で開催された屋外体育大会では、先生にお声がけいただき、前日と当日にサポートしました。普段、公営塾であまり接することのない生徒たちとも学校行事を通じて交流を深められ、それぞれの夢や今関心があることを話すきっかけとなりました。

ソフトボールでは、チームメイト同士が声をかけあう姿が印象的で、運動の得意不得意に関係なく、一丸となって「今」を楽しもうとする生徒たちの様子にとっても心を打たれました。決勝で負けたチームのピッチャーが肩を落とすなか、「最高だったよ」と声をかけて励ます姿に、厚真高校の明るい未来を見た気がします。選抜リレーでは、公営塾チームとして補欠の生徒たちと走ることもできました。

厚真に移住して、誰と話す時にも一つ思うことがあります。コミュニケーションや対話が大切だと分かっていますが、実際、互いに思いの本質を伝えあうことは難しい。同じ時間を一緒に過ごすことで、言葉以上に表情や息遣いで伝わるものもたくさんあるということです。対話とは、「時間の過ごし方」なのかもしれません。どのような時間の過ごし方ができるのか、考えてみようと思います。

教育魅力化支援員 加藤千昇



試合後、同じ足取りで励まし合う生徒たちの表情が素敵でした。

よりみち通信



「よりみち学舎」は、厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し、挑戦する公営塾です。